

## 1. 計画策定にあたって考慮すべき事項 【社会情勢】

新たな計画では、現行計画策定以降の国内外における環境に関する動きや課題を踏まえ、環境施策・政策を検討する必要があります。

### 持続可能な社会の形成

- 2015年、国連サミットにおいて持続可能な開発目標（SDGs）を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。
- SDGsは「誰も取り残さない」という理念のもと、2030年を期限とした17の目標、169のターゲットを設定しています。
- 目標達成のためには、先進国、発展途上国の別なく、全ての国が、様々な関係者と取り組むことを明示しています。



SDGsの□  
出典：国際連合広報センター(2018)

### 資源循環問題への対応

- 2018年に「第四次循環型社会形成推進基本計画」が策定されました。
- 令和元年には「プラスチック資源循環戦略」が策定され、令和3月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が公布。さらに、令和元年に施行した「食品ロス削減の推進に関する法律」に基づき、令和2年には「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」が閣議決定。



### 国の環境基本計画との整合

- 2018年に策定された「第五次環境基本計画」では、分野横断的な6つの「重点戦略」により、「環境」「経済」「社会」の統合的向上を目指しています。
- 3つのイノベーション（「技術」「社会システム」「ライフスタイル」）を同時に進め、新たな成長につなげていく方向性が示されており、あらゆる関係者との連携、「地域循環共生圏」の創造を目指しています。

### 地球温暖化問題への対応

- 1880～2012年の傾向では、世界の平均気温は0.85℃上昇、2100年に地球の気温が最大で4.8℃上昇すると予測されています。
- 2015年、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力することを掲げる「パリ協定」が採択されました。
- 国は2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しました。

### 都の環境政策との整合

- 都は東京都環境基本計画において、将来像に「世界一の環境先進都市・東京」を掲げ、スマートエネルギー都市の実現をはじめとした政策の柱を推進しています。
- 令和3年3月には改定版の「ゼロエミッション東京戦略 2020 Update & Report」を策定し、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化などを進めています。

### 生物多様性危機への対応

- 2019年に開催された生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）総会第7回会合では、「自然がもたらすものは世界的に劣化している」「自然の変化を引き起こす直接的・間接的要因は、過去50年の間に加速している」などの結果が公表されました。

### アフターコロナ・新しい生活様式への対応等

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、新しい生活様式への対応、Society5.0の実現に向け、社会の変革（イノベーション）が求められています。
- ロシアによるウクライナ侵攻を受け、化石燃料価格が急騰しエネルギー危機が顕在化しており、エネルギーの地産地消の重要性が高まっています。

## 2. 計画の全体的なコンセプト

西東京市第3次環境基本計画（以降、「第3次計画」という。）では、現行計画策定以降における国内外の環境に関する動きや課題などを踏まえ、以下に示すコンセプトで策定いたします。

### 考慮すべき視点・課題

#### 国内外の動向

現行計画策定以降の新たな取組や考え方を第3次計画に反映する必要があります。

- ✓ 国の第五次環境基本計画、都の「ゼロエミッション東京」、西東京市ゼロカーボンシティ宣言、プラスチック資源循環、アフターコロナ・新しい生活様式への対応 等

#### 市の特性・環境課題など

##### ●地域特性

- ✓ コンパクトで平坦な市域特性を活かした交通

##### ●環境の現状

##### 【地球温暖化対策】

- ✓ 家庭部門・業務その他部門・運輸部門における大幅な削減の必要性

##### 【自然環境保全】

- ✓ 農地・雑木林などの保全及び積極的な活用

##### 【資源循環】

- ✓ プラスチック資源循環のさらなる推進

##### 【市民・事業者との協働・参画】

- ✓ 市民団体における取組の推進

### 新たな計画のコンセプト

#### 現行計画をバージョンアップした新たな計画へ

- ◆ 第3次計画は、現行計画をベースとした上で、ゼロカーボンシティ宣言、プラスチック資源循環の取組推進、新しい生活様式への対応など、新たな課題への対応を反映し、**計画全体をドラスティックに見直します。**

#### ゼロカーボンシティの実現に向けたロードマップとしての計画へ

- ◆ ゼロカーボンシティ宣言を受け、第3次計画では2050年における**温室効果ガス排出量を実質ゼロに向けた多面的な視点から取組を盛り込む**とともに、実現に向けたロードマップを明らかにします。

#### 地域の資源を活かし、地域が元気になる計画へ

- ◆ 第3次計画では、環境だけでなく、産業の振興等による地域経済の活性化といった経済的課題、市民の健康（超高齢化社会への対応）や安全の確保（自然災害への対応）のような社会的課題の解決に向け、分野横断的な取組を通じて施策相互の連携を強めることで、**マルチベネフィットによる多様な社会問題の解決**に取り組めます。

#### わかりやすく、親しみやすい計画へ

- ◆ 様々な人々に計画内容を理解していただくため、文字の大きさや文章の平易さ、イラストの挿入はもとより、計画の構成についても配慮し、できるだけ**わかりやすい計画となるように配慮**します。